

マンモスしんぶん

2020年7月15日発行

おざわかちょう ～小澤課長 あいさつ～

日頃より、当会をご利用いただきありがとうございます。

前任者の退職に伴い、7月1日より在宅支援事業課長を拝命いたしました。

私は1994年（平成6年）に入職して富士見福祉作業所を3年間担当した後、1997年（平成9年）から2006年（平成18年）6月までの9年間、知的障害者デイサービス（現在のコスモス）を担当いたしました。

その間、福祉の制度は大きく変わり、2000年に介護保険制度が導入。障害者福祉制度でも、2003年に支援費制度が導入され、従来の措置制度からの大きな転換がありました。

「マンボウ」、「コスモス」という名称が付いたのもそのころです。「マンボウ」は利用者の方が描かれた絵から、「コスモス」は昭和記念公園のコスモスにちなんでの命名だったと記憶しています。（「マンボウ」と「コスモス」を合わせたら「マンモス」になるとか、「コスモス」はウルトラマンコスモスから付けたという都市伝説も生まれました。）

そのような時代の変わり目にあって、活動の内容を見直し、工夫して、利用者の皆さまが楽しく落ち着いて過ごせるように取り組んでいたことを思い出し、古巣に戻ってきた懐かしさを感じております。

どうぞよろしくお願いたします。



発行：立川市社会福祉協議会生活介護支援事業所

〒190-0013 立川市富士見町2-36-47

Tel 042-529-8353 Fax 042-529-8714

へやわ ～部屋分け～コスモス

みな いぜん
皆さま、以前はコスモスの部屋は元々2つの部屋に分かれていたのをご存じでした
でしょうか。

センター開設当初は、マンボウ・コスモスがそれぞれ部屋を使用していました。時
を経て、利用者の人数が多くなっていく中で1つの部屋としてコスモスで使用する
ようになった経緯があります。

1つの部屋にしたことでメリットもありましたが、逆にデメリットもありました。
音に敏感な方などが人の動きや声の量の多さなどによって落ち着いて過ごすことが
難しくなっていました。

そこで安心、安全な部屋を作っていくためには、改めて部屋を分け、障害特性に
合った生活環境を提供していくことが大切であると考え、パーティションを使用
し、環境面の改善を図りました。

部屋の中央をパーティションで仕切り、両方の部屋が見えるようにさらにパーテ
ーションで個室を設置しました。視覚からの情報（人や物の動き）や聴覚からの
情報（声や物音などの音の量）を減らすことができ、より穏やかに過ごす環境を
提供できたのではないかと考えています。

施行して一カ月程経ちましたが、変化は少しずつみられています。

部屋の隅で過ごすことが多かった方が、部屋の中央で昼食を食べることができ
たり、今まで参加することを拒んでいた方が活動に参加するようになってきました。

皆さまの笑顔が増えるように変化を捉えながら、より過ごしやすい環境を考え、
引き続き提供していければと思います。



たなばた ～七夕～コスモス

7月7日は七夕。コスモスでも七夕の季節行事を行いました。



第1会場ではゲーム大会、第2会場では部屋を暗くし、夏の花火大会の映像をスク

リーンで楽しみました。大きなスクリーンで見る花火は迫力があり、利用者の皆さんも実際の花火会場で楽しんでいるような気分でした。ゲームは、ボールプールの中に隠された銀・金色の球を探し「おたま」で掬うゲーム。職員と一緒に熱戦となりました。頑張った利用者全員に景品が贈られ、皆さん笑顔で家



に持ち帰りました。景品はあんなものやこんなもの・・・♪開けてからののお楽しみ♪

たなばた ～七夕～マンボウ

今年の七夕は、彦星が織姫に会いに行くことをイメージしたチーム対抗のすごろくゲームを行いました。会いに行くまでには試練があり、サイコロを振って止まったらその都度、試練の書かれたくじを引いていきます。試練には「七夕の歌を振りをつけて歌う」、「職員と指相撲をして勝つ」、「ふりだしに戻る」など。この試練が好評で大盛り上がり、初夏のひと時を楽しく過ごしました。



～プール～マンボウ



6月に入り、プール活動を再開いたしました。ソーシャルディスタンスを考慮して、更衣室やプールに入る人数を減らしなが



ら実施しています。以前のような活動に少しでも近づけるように今後も取り組んでいきたいと思っています。

へきめんそうしやく ～壁面装飾～マンボウ

6月の創作活動は「貼り絵」で写真のような壁面装飾を作成しました。新型コロナウイルスの影響でなかなかお見せする機会がないのでここで紹介させていただきます。利用者の皆さんはくまのプーさんの装飾をバックに記念撮影をしました。



～^{しんがた}新型コロナウイルス^{かんせんかくだいほうし}感染拡大防止への^{とく}取り組み～

生活介護支援事業所での取り組みを紹介し^{しょうかい}ます。

- ・センターに入る前には検温、手などの消毒
- ・テイルーム内では活動机に仕切り板を設置
- ・処置スペースにはビニールカーテンの設置
- ・部屋の換気
- ・職員のマスクの着用、手洗いやアルコール消毒



- ・食事や歯磨きの支援の時には職員はフェイスシールドを着用

- ・利用者の皆さんがなるべく密にならないように活動時間や食事時間をずらすなどの工夫しています。

安心して過ごしていただけるよう職員が日々、検討して感染予防に努めています。



❖ 新規職員のおしらせ ❖

坂本 勝美（支援員）が5月25日より勤務することになりました。

❖ 退職のおしらせ ❖

在宅支援事業課長 奥山 輝明が6月30日付で退職となりました。

後任は小澤 真治が在宅支援事業課長に着任となります。

❖ 編集後記 ❖

最近の梅雨の雨は勢いが増しているように感じます。。じめじめとした時期が長く続くより、カラッとした天気^{てんき}で心地の良い風^{かぜ}が吹く日が続いた方が気持ちがいいですね。（つ）